



新しい“子どもの居場所”のカタチとは？

—広げよう“子どもの居場所”の活動範囲—



1. 趣 旨

子ども食堂やフードパントリー、学習支援教室、子ども向け体験活動、相談場所や地域交流の場など、家でも学校でもなく、誰もが気軽に集える“子どもの居場所”は、さまざまな問題を抱える子どもたちを支援する手段の1つとして、注目されています。

県内でも“子どもの居場所”の数は増加していますが、その中でも運営者の創意工夫により、多様な活動内容を展開している“子どもの居場所”があります。

そこで、県内で活動する“子どもの居場所”のうち、幅広い分野での活動や、新しい分野で活動するなど、特色ある“子どもの居場所”に注目し、新しい“子どもの居場所”のあり方(=カタチ)について共有するとともに、事例の報告や意見交換を行います。

2. 日 時

令和5年2月9日(木) 13時30分～15時40分

3. 開催方法

次の(1)(2)2つの方法を併用して行います。

(1) オンライン(ZOOM開催)

(2) 現地会場(30名まで)

三重県勤労者福祉会館6階 研修室

(津市栄町1丁目891)

<お車> 県庁駐車場をご利用ください。

<電車> 津駅より徒歩約8分(約650m)

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、
オンラインのみでの開催になる可能性が
ありますのでご了承ください。



4. 対 象

子ども食堂等“子どもの居場所”の運営に関わる団体、その他関心のある方。

5. 参加費

無料

6. 申し込み方法

電子メールまたはFAX。 ※詳細は「参加申込書」をご覧ください。

【特色ある“子どもの居場所”活動報告団体のご紹介】

◎善西寺おてらおやつクラブ(桑名市)

代表 矢田 俊量氏

地域に親しまれる“お寺”をとという場所を活かし、地域のさまざまな課題を解決していくため、地域の住民と連携し、“子どもの居場所”を開設。地域住民を対象とした、「おてらこども食堂」や、中学生・高校生を対象とした無料の学習支援「てらこや勉強会」、ひとり親世帯を対象とした「子育てフードパントリー」など、“お寺”を舞台とした幅広い活動を実施している。



◎ねやこや運営委員会(鳥羽市)

会長 山本 春久氏

地域の住民や自治会、漁協、地域おこし協力隊の連携により、鳥羽市答志島の空き店舗を改装し、多世代交流の居場所“ねやこや答志島”を開設。誰でもいつでも使用可能な場として開放し、多世代に飲食の場を提供する「じんじろカフェ」や、「ねやこやフードパントリー」、放課後・休日の勉強会、島外からの大学生等との交流、地域の高齢者を講師とした漁業体験など地域ならではの活動を行っている。



◎NPO 法人 学び場子ども食堂(南伊勢町)

理事長 大下 武彦氏

南伊勢町に在住の元校長先生が、地域の小学校や社会福祉協議会と連携し、地域の小学生を対象とした無料の学習支援教室「まなVIVA」を開設。週1回開催される学習支援教室では、学習支援サポーター（全員町内在住の元校長先生）が子どもたちをサポート。また教室の開催日には、子どもたちへお弁当や、レトルト食品の配付も合わせて行っている。



問い合わせ先

三重県子ども・福祉部子育て支援課 子育て家庭支援班 村居・沖中

電話：059-224-2271 FAX：059-224-2270 メールアドレス：kodomok@pref.mie.lg.jp